

[086] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10179>

出版情報：語文研究. 86/87, 1999-06-04. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

目次

中野三敏教授略歴

中野三敏教授著作目録

『おくのほそ道』私注……………	井上敏幸(1)
——「そゞろ神の物につきて心をくるはせ」の意味——	
遊女評判記の世界——『色道大鏡』と延宝版『長崎土産』——	若木太一(15)
『天石笛之記』が描く平田篤胤……………	板坂耀子(30)
近代短歌研究贅語——拙稿「別離再読序説」にこだわる——	白石良夫(44)
「あを本」の青の色々……………	園田豊(54)
老曾の森の物語——「目ひとつの神」私見——	飯倉洋一(64)
すみだ郷土文化資料館蔵『清暉園図記』解題と翻印……………	ロバートキャンベル(77)
——中村仏庵の文事・その四——	
「鳩巢小説」の変化と諸本——近世写本研究のために……………	宮崎修多(90)
「整はず候」歌と「聞えず候」歌——冷泉為村の批語と褒詞(一)——	久保田啓一(105)
松下筑陰伝攷(上)……………	高橋昌彦(117)
『怪醜夜光魂』の成立について……………	榎澤葉子(129)

評判するということ	入口敦志	(139)
賀茂季鷹の生いたちと諸大夫時代	盛田帝子	(150)
一九洒落本における類型的人物像について	康志賢	(163)
記念館本『蘭太暦』追考―芭蕉書写本としての可能性―	川平敏文	(177)
『洞房語園』の諸本	勝又基	(193)
『博桑名賢文集』の書入れ―荻生徂徠の元禄名賢月旦―	大庭卓也	(204)
漢語資料としての詩学書―『詩語碎金』を例として―	岡島昭浩	(220)
会員著書紹介		(228)
学会彙報		(232)